

2020 年度事業報告

(2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人ブロードバンド・アソシエーション(BA)

1. 事業の成果

2020 年度における BA の活動は新型コロナによって大きな影響を受けましたが、ライブ配信を中心とした実施方法等に変更し一部を除き年度当初の事業計画に沿った活動を実施することができました。

BA のメインイベントである「特別ブロードバンド講演会」は、6 月に「デジタルテクノロジーによる社会課題の解決～SDGsの実現～」のテーマで第 33 回を、12 月に「ローカル5G の挑戦～ニューノーマル時代のデジタル変革～」のテーマで第 34 回を開催し、多くの方に聴講いただきました。

設立 10 周年を機に設立した「スマートプラットフォーム・フォーラム」は、5 月に「ローカル 5G 普及研究会設立発表のライブ発信について」と題して第 11 回を、10 月には「ICT を活用した高齢者の生活支援～認知症を予防するために～」と題して第 12 回公開フォーラムを開催し好評でした。

また上期はコロナで中止となっていた BA エグゼクティブサロンは 9 月からライブ配信で再開し、3 月まで合計 6 回開催いたしました。このサロンの講師については、会員各社様から選出いただくなどご協力をいただきありがとうございました。

なお「映像ビジネス研究会」及び「BAクリエイターズサロン」は、NPO 法人映像産業振興機構(VIPO)のご協力を得て開催する予定でしたが、新型コロナの影響もあり活動を見送りました。

特に本年度大きな成果があったのは「ローカル5G 普及研究会」の活動でした。5 月の公開フォーラムで設立を発表した後、これを皮切りに研究会は実際のものづくりとパートナー形成及びユースケースの確立を目指し、「研究会」、「実証試験 WG」、「技術 WG」を中心に活動を進めております。現在参加会員企業は 46 社と増加し、ローカル5G の普及の基盤となるユースケースの実証を推進する活動を重点的に進めております。

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の実績(千円)
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営 1	<p>「ブロードバンド特別講演会」</p> <p><第 33 回(デジタルテクノロジーによる社会課題の解決～SDGsの実現～)></p> <p>・特別講演:安藤久住氏(経済産業省 経済産業事務次官:パンデミック対応としてのデジタルソリューションの可能性) ・基調講演:岩本敏男理事長(テクノロジーがもたらす変革と新たな社会)</p> <p><パネルディスカッション(SDGs実現にデジタル技術はどう生かすか～新型コロナウイルスからの教訓～)></p> <p>・モデレーター:関口和一氏(株)MM 総研代表取締役社長、元日経新聞社論説委員)</p> <p>・パネリスト:西山圭太氏(経済産業省 商務情報政策局局長)、石山洸氏(株)エクサウィザーズ代表取締役社長)、鈴木国政氏(インテル(株)代表取締役社長)、岩本敏男理事長</p>	6 月 17 日	明治記念館	17 名	会場: 31 名 ネット配信: 1,653 名(延べ) ライブ配信: 1,070 名(延べ) オンデマンド: 583 名(延べ)	2097

	<p><第34回(ローカル5Gの挑戦～ニューノーマル時代のデジタル革命～)></p> <p>・特別講演:竹内芳明氏(総務省総合通信基盤局長:ローカル5G 最前線)・基調講演:中尾彰宏氏(東京大学院教授 ローカル5G 普及研究会委員長:ローカル5Gの普及促進と6Gへの期待)</p> <p><パネルディスカッション(ローカル5G 夜明け前～日本の情報通信産業の救世主たるか?～)></p> <p>・モデレーター:関口和一氏(株)MM 総研代表取締役社長、元日経新聞社論説委員)・パネリスト:翁長久氏(総務省電波部 移動通信課長)、中尾彰宏氏(東京大学院教授 ローカル5G 普及研究会委員長)、岩浪剛太氏((株)インフォシティ代表取締役)</p>	12月15日	明治記念館	9名	会場:35名 ネット配信:1,925名(延べ) ライブ配信:1,208名(延べ) オンデマンド:717名(延べ)	
交流会・研究会・セミナーの開催1	「BAエグゼクティブサロン(座長:岩本新理事長)」					
	第136回:川添雄彦氏(BA理事、NTT常務執行役員 研究企画部門長:限界打破のイノベーションOWN構想について)	9月17日		5名	参加者会場:7名 ネット:100名	722
	第137回:伊達吉克氏((株)NHK エンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー:最新の4K・8Kプロダクション及びリアルタイムCG映像作成)	10月18日		5名	会場:19名 ネット:65名	
	第138回:堀清敬氏((株)ドコモ・ガイクシア代表取締役):シェアサイクルビジネスの現状と今後の課題)	11月19日	NTTデータ本社	6名	会場:11名 ネット:43名	
	第139回:三谷慶一郎氏((株)NTT データ経営研究所 エグゼクティブ・オフィサー:ニューノーマル時代のDX戦略)	1月21日		5名	会場:6名 ネット:74名	
	第140回:龍鳳正峰氏((株)TBS ホールディングス特任執行役員、(株)TVer 代表取締役社長:TVer～放送局による広告付き無料動画サービスへの挑戦)	2月18日		6名	会場:7名 ネット:106名	
	第141回:青野義明氏(日本電気(株)ネットワークサービスビジネスユニット 第一ネットワークソリューション事業部 部長:地球上に張り巡らされた光ファイバーで世界を感知し未来を洞察する光ファイバセンシング)	3月15日		6名	会場:7名 ネット:60名	
	「BAクリエイターズサロン(座長:為ヶ谷秀一)」		VIPO			
新型コロナの関係で実施せず。						
「映像ビジネス研究会(座長:境真良)」		VIPO				
新型コロナの関係で実施せず。						
ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営2	「SPF公開フォーラム(委員長:森川博之)」					
	<p>「第11回(「ローカル5G普及研究会」設立発表のライブ発信について)</p> <p>・研究会委員長講演:中尾彰氏(東京大学 教授:ローカル5G普及研究会の設立について)</p> <p>・実証実験WG主査の講演:伊藤陽彦氏(NTT 東日本高度化推進部長:ローカル5Gのオープンラボの対応状況について)</p> <p>・技術WG主査の講演:藤本幸一郎氏(日本電気(株) デジタルネットワーク事業部 上席事業主幹:ローカル5G普及に向けた技術開発について)</p> <p>・関係団体の講演I:坂本雅彦氏(東京都産業労働局 次長:5Gに関する東京都および産業労働局の取り組みについて)</p> <p>・関係団体の講演II:松村武氏(NICT ワイヤレスシステム研究室 研究マネージャー:「ローカル5G 可用性向上」に向けたNICTの研究開発)</p>		VCUBEスタジオ	4名	参加者会場:8名 ネット参加:3,058名	1231

<p>ブロードバンドを使った活動をしている産・官・学・民交流の場の運営2</p>	<p>「第12回(ICTを活用した高齢者の生活支援～認知症を予防するために～)」 ・特別講演:谷脇康彦氏(総務省 総務審議官:データ主導社会と高齢者) ・基調講演:長澤泰氏(工学院大学 特任教授・共生工学研究センター長、東京大学名誉教授:「COVID-19 以後の日本社会における高齢者に相応しい生活環境」) 講演Ⅰ:秋山弘子氏(東京大学高齢社会総合研究機構/未来ビジョン研究センター客員教授):鎌倉リビングラボ:生活者を中心とする産官学民の共創の場 講演Ⅱ:秋山正子氏((株)ケアーズ 代表取締役:暮らしの保健室 室長:人生100歳時代をどう迎えるか?～暮らしの保健室の試みから～) 講演Ⅲ:羽生和人氏(総合警備保障(株)HOME ALSOK 事業部 課長:見守りサービスから派生する新しい付加価値とその社会実装に向けて) 講演Ⅳ:山田肇氏(日本規格協会 フェロー:高齢社会標準化の動向)</p>	<p>10月14日</p>	<p>VCUBE 本社</p>	<p>4名</p>	<p>会場参加:9名 ネット参加:647名</p>	
<p>交流会・研究会・セミナーの開催2</p>	<p>「ローカル5G普及研究会(委員長:中尾彰宏)」 ●第1回運営委員会で、外部に説明する設立趣意書、活動内容等をリファインし、HPに掲載した。 ●新型コロナで3月に開催出来なかった設立発表会を、ライブ配信形式で5月に実施した。(「第11回SPF公開フォーラム」参照)、この活動が評価され、ITUが12月に「業界主導のデジタルトランスフォーメーション」のテーマで開催する国際会議の基調講演者として、中尾委員長が招待された。 ●第2回運営委員会で、実証試験WG、技術WGの当面の活動方針を固めた。また報発信の強化を議論し、公式facebook「Loca5G普及研究会」を開設した。 ●「第1回研究会」は、フォーラムの反省会を兼ねて、フォーラム終了後に実施した。 ・「第2回」は、アンケート調査(研究会参加の目的、取組みたいと思っているローカル5Gの具体事例)の結果を報告し、参加メンバーの情報を共有した。 ・「第3回」では、新年度の活動方針を議論、分科会を設置して活動を推進する。また令和3年度の国プロ(予算:60億円)申請、コンソーシアム作りに向けた活動を進めることとなった。 ●「第1回実証試験WG」では、東京大学、NTT 東日本ローカル5G オープンラボをオンラインで紹介した(施設紹介、検証状況の説明、デモ紹介)。 ・「第2回」は、ローカル5Gオープンラボ環境に関する更新情報、東京都様、東京大学様との取り組みについて紹介した。 ●「第1回技術WG」では、参加メンバーを紹介し、課題であるシステムコスト低減に向けたオープンソースの開発、ユースケースを考慮したプラットフォーム開発の重要性、SA 端末が無い等について議論した。 ・「第2回」は、東大のシステムコスト低減に向けた活動をお聴きし、WGとしても課題解決に向けた具体検討を進めることとなった。 ・「第3回」は、アンケート調査(ユースケースにおいて、必要となる機能や技術的特徴(スループット、遅延、端末の機能・数、等)から、開発の方向性を明かにした。また、課題解決に向けた分科会の設置を検討することとなった。</p>	<p>第1回運営委員会:4月22日 設立発表:5月22日 第2回運営委員会:10月5日 第1/2/3回研究会:5月22日、8月28日 3月8日 第1/2回実証実験WG:8月28日、12月8日 第1/2/3回技術WG:7月13日 9月7日 12月8日</p>	<p>WEB会議 第11回公開フォーラム(Vcube) WEB会議 WEB会議 WEB会議 WEB会議 WEB会議 WEB会議 WEB会議 WEB会議</p>	<p>2名 7名 4名 4名 4名 4名 5名 5名 5名 5名 5名</p>	<p>ネット参加:15名 ネット参加:3,058名(延べ) ネット参加:34名 ネット参加:24名 ネット参加:90名 ネット参加:115名 ネット参加:84名 ネット参加:110名 ネット参加:60名 ネット参加:84名 ネット参加:110名</p>	<p>1580</p>

交流会・研究会・セミナーの開催2	「SPF 健康医療分科会(主査:坪井俊明)」				
	<p>●「高齢者生活支援ICTサービス研究会」発足に向け、10月14日に、下記の講師をお招きし、「ICTを活用した高齢者の生活支援～認知症を予防するために～」のテーマで開催する「第12回スマートプラットフォーム・フォーラム」を開催した。</p> <p>・来賓挨拶:佐藤光史氏(工学院大学学長)、 ・特別講演:谷脇康彦氏(総務省総務審議官、 ・基調講演:長澤泰氏(工学院大学共生工学研究センター)東大名誉教授、講演者:秋山弘子氏(東大)、 ・秋山正子(暮らしの保健室)、羽生和人(ALSOK)、 山田肇(日本規格協会)</p> <p>●また、多数の発起人にご賛同いただき、「高齢者生活支援ICTサービス研究会」(代表者:長澤泰)を発足することとなった。</p> <p>●第1回「高齢者生活支援 ICT サービス研究会」準備会</p> <p>・ご挨拶:工学院大学特任教授・共生工学研究センター長 長澤泰名誉教授 ・研究内容紹介:慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 三村 将教授 ・「認知症の新しいスクリーニング検査」について 工学院大学情報学部コンピュータ科学科 生体情報処理研究室 田中久弥教授</p> <p>●「第二回」準備会</p> <p>・「地域と現場が求めるこれからのケアについて:スウェーデン、そして千葉県浦安市の事例」(株)舞浜倶楽部 グスタフ ストランド様 ・「医療・介護・福祉のパラダイムシフト ~自立・参加・地域づくりに向かう欧州諸国~」東京家政大学 人文学部 教育福祉学科 松岡洋子先生 ・「NTT の医療・福祉の取り組み～バイオデジタルツインの実現に向けて～」NTT研究企画部門 林勝義様</p>	10月14日		2名	
	<p>●第1回「高齢者生活支援 ICT サービス研究会」準備会</p> <p>・ご挨拶:工学院大学特任教授・共生工学研究センター長 長澤泰名誉教授 ・研究内容紹介:慶應義塾大学医学部精神神経科学教室 三村 将教授 ・「認知症の新しいスクリーニング検査」について 工学院大学情報学部コンピュータ科学科 生体情報処理研究室 田中久弥教授</p> <p>●「第二回」準備会</p> <p>・「地域と現場が求めるこれからのケアについて:スウェーデン、そして千葉県浦安市の事例」(株)舞浜倶楽部 グスタフ ストランド様 ・「医療・介護・福祉のパラダイムシフト ~自立・参加・地域づくりに向かう欧州諸国~」東京家政大学 人文学部 教育福祉学科 松岡洋子先生 ・「NTT の医療・福祉の取り組み～バイオデジタルツインの実現に向けて～」NTT研究企画部門 林勝義様</p>	11月11日	WEB会議	2名	ネット参加:20名
		12月17日	WEB会議	2名	ネット参加:24名
	「SPF サービス・WEB 分科会(主査:木浦卓治)」				
	<p>W3C Agriculture CG の委員長である木浦卓治氏(農研機構)が「サービス・WEB 分科会」の主査を兼務し、農業分野の WoT の国際標準化に向けた活動を、外部環境をウオッチしながら進めている。</p> <p>●アジア太平洋先端ネットワーク第 50 回会議において、E-Culture 作業部会と連携して”Rural Hybridization”のセッションを開催し、芦村先生より W3C WoT WG の活動に関する報告を行って頂いた。セッションでは COVID-19 時代の新たな都市と農村の関係の重要性を議論し、農村の 5G 展開を戦略的に行うことの重要性についても議論を行った。</p> <p>(https://apan2020.apan.net/?p=444)。第 51 回会議においては、Rural Hybridization”のセッションの今後の活動について議論を行った。</p> <p>●W3C WoT WG の芦村先生が主査を務める 総務省の「WoT に関する検討会」傘下のアウトリーチタスクフォースにメンバーとして参加し、農業分野における WoT 利用に関する情報を提供した。また具体的なユースケースの抽出を行うためのアイデアソンを提案した。タスクフォースに協力して、日本語を主に WoT に関する活動を行うための WoT-JP CG を設立し、2021 年 2 月 27 日にシンポジウム「Web で実現する未来の IoT ~「WoT-JP CG」設立イベント」にパネルとして出席しスマート農業の観点からの期待について話題を提唱した。</p> <p>・「WoT に関する検討会」の第 2 回検討会および第 3 回検討会に委員として参加し、農業分野と他分野との連携に関して意見を述べた。</p> <p>●これら活動で得られた情報は、分科会、W3C Agriculture CG メンバーとメーリングリストで、適宜共有している。 ”Rural Hybridization”に関しては、W3C TPAC 内の WoT の F2F 会議(10/7)においてユースケースとして提案した。</p>	8月3日	アジア太平洋先端ネットワーク第 50 回会議	1名	ネット参加:20名
		2月3日	第 51 回会議	1名	ネット参加:11名
		9月:4回 10月:5 11月:4 12月:3 1月:3 2月:3 3月:3	アウトリーチタスクフォース	1名 ×25 回	タスクフォース:16名
		7月30日	WoT に関する検討会第 2 回	1名	参加者:27名
		8月6日	第3回	1名	参加者:27名
		9月:4回 10月:5 11月:4 12月:3 1月:3 2月:3	メーリングリスト	1名 ×22 回	W3CAgriculture CG:62名

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の実績(千円)
	実施しなかった					